

送り側向け

受入側

子どもの農山漁村体験交流セミナー

—自然体験を活かした探究学習—

日時

'23. 11. 10 (金) 14:00~16:00

参加方法

会場

AP虎ノ門 11階 ルームD (定員30名)

東京都港区西新橋1-6-15
NS虎ノ門ビル(日本酒造虎ノ門ビル)

東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」9番・1番出口より徒歩約3分
都営三田線「内幸町駅」A4a出口から徒歩約3分

オンライン

Zoomによるオンライン同時配信を行います。(定員なし)

参加対象

- 子どもの農山漁村体験に、【送り側】(都市部・学校関係等)で関わっている方
- 子どもの農山漁村体験にご関心のある方

お申込み

Webフォームからお申し込みください

<https://questant.jp/q/kopro2301>



参加無料

申込メ切日
11/8(水)

プログラム

- 開会あいさつ
- 子どもの農山漁村体験の意義・概要

第1部 特別講演「学校での学びを深める体験活動とは」
学校での学びと関連付けて、体験活動による学びの効果を高めるためのポイントを紹介します。

第2部 事例紹介 子どもの農山漁村体験を実践する、地域や学校の事例を紹介します。
パネルディスカッション 有識者・実践者の3名で、送り側が今後取り組む方向性を議論します。

- 関連施策の紹介
- 質疑応答

登壇者

特別講演・パネルディスカッション

子どもの体験活動の研究と実践

國學院大學人間開発学部 子ども支援学科
准教授

青木 康太郎氏

国立青少年教育振興機構で自然体験活動の指導や調査研究、指導者養成などに従事し、北翔大学准教授を経て、2019年から現職。
文部科学省生涯学習調査官、子ども家庭審議会基本政策部会委員、国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター客員研究員などを兼務。
青少年教育、野外教育を専門とし、体験活動の教育効果や安全管理の研究、自然体験活動の指導者の養成、体験活動に関する普及啓発に取り組んでいる。

事例紹介・パネルディスカッション

地域間の連携をコーディネートする

江戸川区教育委員会 教育指導課
指導主事

松井 芳信氏

地域でしかできない学びを引き出す

私立武蔵高等学校中学校
副校長

加藤 十握氏

お問合せ

株式会社JTB総合研究所 橋本(惇) ☎ 080-8896-4537 ✉ a_hashimoto343@tourism.jp

主催:総務省・内閣官房・文部科学省・農林水産省・環境省